

こんにちは、ホンノハシです。

いろいろな人やモノや場所を、本を通じてつないでいこうと活動しています。

今日は、ある昔話をテーマにブックトーク、本の紹介をします。

それでは、ホンノハシのブックトーク、はじまりはじまり～。

(手回しオルゴールで「ももたろう」を演奏)

「むかしむかしあるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。

おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へせんたくに出かけました。」

みなさんは、このむかしばなしをしっていますか？

そう、「桃太郎」の昔話、知っている人は手をあげてください。

(参加者に手をあげてもらう。全員手をあげているのを確認)

今日の参加者は全員「桃太郎」を知っているようですね。

ではクイズを出します。(ホワイトボードを裏返ししながら)

桃太郎クイズその1 「おおばあさんが かわで せんたくをしていると おおきなももが
と ながれてきました」この のなかには どんなことばがはいるでしょうか。

「どんぶらこどんぶらこ」という声が上がりましたが、他にありますか？

では、全員一致で「どんぶらこどんぶらこ」ということでいいでしょうか。

図書館にはいろいろな「ももたろう」の絵本があつて、今日は図書館の方にその絵本をこんなにたくさん準備してくださったので、実際に見てみたいと思います。

まず『ももたろう』(馬場のぼる)は「つんぶかんぶ つんぶかんぶ」あれれ、どんぶらこではありませんね。

次は『ももたろう』(おざわとしお)は「ごっくりごっくり」これもどんぶらこではありませんね。

次はどうでしょう。『ももたろう』(水谷章三・世界文化社)は「どんぶらこっこすっこんごー」どんぶらこではありません。

これはどうでしょう。『ももたろう』(長谷川摂子)は「どんぶらこ どんぶらこ」やっつ、どんぶらこが出てきました。

こんなふうには、それぞれの絵本によって、ももの流れてくる音がちがうのです。ももの流れてくる音が違うだけではなくて、例えば、桃太郎がイヌやサルやキジにきびだんごをやって鬼退治のお供にする場面がありますが、『ももたろう』(松岡節・ひかりのくに)では「……(絵を見せながら一節を読む)」のように一つやりますが、『ももたろう』(スズキコージ)では「……(絵を見せながら一節を読む)」のように半分しかやりません。

では、もう一つクイズを出したいと思います。

桃太郎クイズ2 ももたろうと おにがしまにいったのは さると きじと なんでしょうか？

(参加者から「いぬ」と声が上がったら)では、みんなで答えを一斉に言ってみましょう。いっせいのせ「イヌ」。

そう、犬ですね。(折り紙でできた犬を見せる)

「イヌ」なのですが、『ももたろう』(松谷みよ子)(絵を見せて指さしながら)では、イヌ、サル、キジのほかにもうさぎや石臼や栗や蜂なんてもので鬼ヶ島に行って鬼退治を手伝います。(参加者の「猿蟹合戦みたい」という声を受けて)そう、桃太郎なのに猿蟹合戦みたいですね。

また、この『桃太郎話 みんな違って面白い』にはたくさんの桃太郎のお話ののっけていて、それぞれいろいろなタイプの桃太郎のお話が載っていておもしろいので、読んでみてください。

(犬の折り紙を見せながら)この犬は折り紙でできています。この『選べる！飾れる！折り紙で作るおはなし指人形』に折り方が載っています。ただ、ちょっと難しいので、今日はこちらの『5回おったらできあがり!!はじめてのおりがみ』に載っている、鬼を折ってみたいと思います。一緒に折ってみたいよという人は手をあげてください。スタッフが折り紙を渡します。本当に簡単にできますから、ぜひ一緒に折ってみましょう。(説明しながら一緒に折る。最後、ボールペンで顔を書いてもらう)みなさんできましたか？怖い顔、やさしい顔、いろいろな表情の鬼ができあがりました。ちょっとお隣とみせっこしてみてください。そして、これはおうちにもって帰っておうちの人にも見せてあげてください。鬼はもうすぐ来る節分にも出てきますから、節分に飾っても良いと思います。

桃太郎に関する本は、他にもたくさんあります。

ももがどんぶらこと流れてくる前のお話が書かれた『ももの里』、鬼退治された後の鬼ヶ島の話が書かれた『それからのおにがしま』、文豪・芥川龍之介の描いた「桃太郎」(『蜘蛛の糸・杜子春・トロッコ他十七篇』より)、絵本作家五味太郎の描いた桃太郎(『だれでも知っているあの有名なももたろう』『絵本むかし話ですよ』)、児童文学者・斉藤洋の「桃太郎」(『斉藤洋の日本むかし話 ふしぎな人の巻』より)など、昔話をベースにいろいろな人が書いた桃太郎や、昔話を研究して書かれた本など、図書館には桃太郎に関する本がとてもたくさんあります。これを機会にいろいろと手に取って読んでみてほしいです。

では最後にたくさんある絵本の中で、一番好きなこちらの桃太郎を読み聞かせします。(『ももたろう』松谷

みよ子・文 瀬田貞二・絵を読み聞かせする)

今日は桃太郎に関する本を紹介しました。

これらの本は借りられます。

また、しおりと桃のスタンプを準備しましたので、スタンプをぺたぺたと押して、自分だけのオリジナルしおりを作って行ってください。

おわり